

久伊豆神社例大祭

越ヶ谷

秋

まつり

日光街道 越ヶ谷宿

三百年の山車祭り

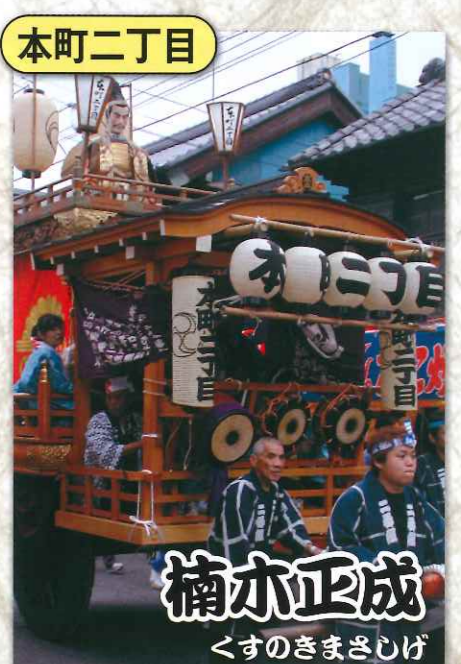
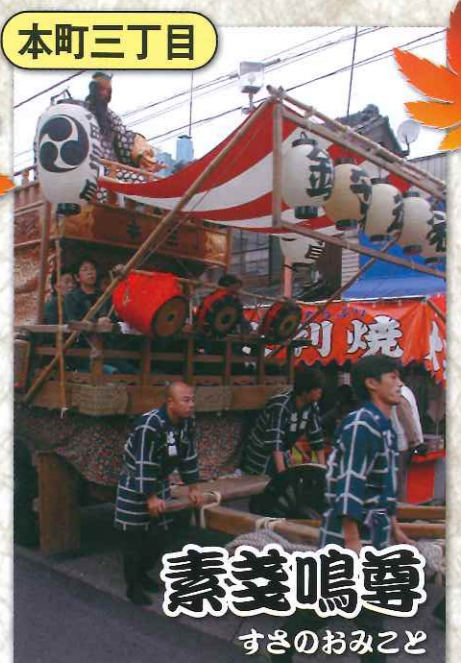


開催日決定

平成28年10月8日(土)・9日(日)

● 発行：越ヶ谷秋まつり実行委員会 <http://koshigaya-akimatsuri.net> 越ヶ谷秋まつり 検索

越ヶ谷秋まつり会場案内図



「越ヶ谷秋まつり」は、越ヶ谷郷の鎮守社である久伊豆神社の御祭神を町内に設けられた御仮舎(おかりや)にお迎えする御輿渡御(みこしとぎよ)と、御帰りいただく還御(かんぎよ)行列を、旧越ヶ谷八ヶ町の山車八台が供奉して町内を練り歩き、秋の豊穰を祝うお祭りです。

江戸時代中期の元禄時代より始まったとされていますが、今の様式になったのは明治期からといわれております。

神旗を先頭に、刀・弓などの威儀物、稚児巫女さんや袴・袴(かみしも・はかま)姿に威儀を正した旦那衆や、古式豊かな神官の行列が、御輿を先導し、それに続く各町が各々自慢の山車人形を載せた山車を、そろいの着物の青年が木遣りを唄い、お囃子を賑やかに奏でながら曳廻す様は、昔の日光街道越ヶ谷宿の繁栄と町民文化の粋を感じさせます。

なお、越ヶ谷秋まつりで唄われる「木遣り」は、久伊豆神社例祭の練歌・曳歌としても重要で、「越谷市指定の無形民俗文化財」となっております。